



正岡 千博 議員

ペット飼い主のマナー 「僕らからのお願い」

問

- ① 犬・猫等の現況は。
- ② 去勢・避妊手術補助金を検討しては。
- ③ 飼い主講習会の後援はできないか。
- ④ 犬の排泄物「飼い主が持ち帰り運動」の強化を。
- ⑤ 立て看板をユニークに。

答 市民福祉部長

- ① 本年4月で、犬の登録数は2659頭で猫の登録数は把握していない。
- ③ 愛媛県動物愛護センターの出張講座があり実施を検討したい。後援については個別に相談いただきたい。

④ 従来から立て看板や広報紙等で啓発しているが、抜本的な解決には至っていない。今後とも、より一層啓発活動を行い、飼い主のマナー向上に努めたい。

⑤ 現在の看板は、既製品を使用しており、費用や耐久性の問題から独自なものにするのは困難ではないかと考えているが、市民が自主的に設置するものについては、できるだけ協力していきたい。

答 市民生活課長

② 中予地域の自治体に制度もあり、研究をして前向きに取り組みたい。

問

ため池ハザードマップ その後の経過

- ① 取り組んでいる各池は。
- ② 各池の現状は。
- ③ 見直しを行っている防災マップとの整合性は。
- ④ 地域住民と共に、どの

ようにマップ作成を。
⑤ 池干しによる地域住民への周知は。

答 産業建設部長

① 貯水量が10万㎡以上の7カ所と位置的に重要である2カ所の計9カ所である。

② 全面改修が完了しているのは、八反地池・岩崎池・大谷池・客池・宮下新池、一部改修済みは市場山田池、本年度全面改修予定が生田池、未改修が三秋大池・上吾川八幡池である。

③ ため池の浸水被害想定区域や要避難区域、避難経路等が示されていないので、防災安全課と調整していきたい。

④ 地域役員や広報区長等から聞き取りをした上でマップに反映したい。
⑤ ため池堤内の点検ができ軽微な補修が容易となるとともに、今後の改修計画を立てることができ、本市においても、ため池

管理者に呼びかけを行っていききたい。

ふるさとづくりワークショップ で活性化を

問

- ① 県・本市で取り組んできた経緯。
- ② 市としてこの事業を実施しては。
- ③ 基金の中に、ふるさと水と土保全対策基金がある。その活用を。

答 中村市長

① 昨年度、愛媛県ふるさと・水と土ふれあい事業で、割当てにより県が選定した上吾川地区で地元の合意を得て開催し、125名の住民が参加した。この事業の趣旨は、住民が住んでいる集落を点検して、その結果をもとに地域を住みやすいように改善するための話し合いを行うことである。

② 県主体事業であったため、予算・スタッフの配

置など特別な支援があったが、市独自の実施は困難である。規模を小さくして実施可能かどうか地域からの要望も踏まえ今後検討したい。

③ 現在、低金利で利子がなく、事業を実施するためには基金を取り崩す必要がある。

しかし、基金の積み立てがないと今後、国・県の基金事業が実施できなくなることを考えられるため、取り崩しについては、慎重に検討したい。



ワークショップ開催の記録